

# キャリアコンサルタント養成講座 実技(論述)修了認定試験Ver. 2025

## ★注意事項★

試験開始の合図があるまでは裏を見ず、氏名を記載し以下を確認してください。

1. 本試験は記述式 4 問です。  
【面談記録】を読み、設問ごとに解答用紙の記入欄に記述してください。
2. 解答用紙の所定欄に、氏名を記入してください。記載漏れの場合は採点されません。
3. 試験中は、腕時計、筆記具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム）以外のもの（教材類・スマートフォン等の通信機器、メモ用紙、筆記具入れ等）は机上に置かないでください。
4. 試験中は、携帯電話・スマートフォンなど全ての通信機器及び電子機器、時計のアラーム等、音の出る機器は使用禁止です。必ず電源を切ってください。
5. 乱丁・落丁・印刷不鮮明以外の内容に関する質問は一切受け付けません。
6. カンニング等の不正行為があった場合は、修了が認められません。
7. 試験終了の合図と同時に、筆記具を置き、試験監督の指示に従ってください。
8. その他、試験監督の指示に従ってください。
9. 問題用紙・解答用紙は持ち帰れません。

受験日      年      月      日      校舎

氏名： \_\_\_\_\_

問題 次の【面談記録】を読み、解答用紙の各問に答えなさい。

【面談記録】

\*キャリアコンサルタントがスーパービジョンを受けるために作成中の事例記録

相談者情報
相談者情報：Zさん、男性、28歳 略歴：四年制大学経済学部を卒業後、大手素材メーカーに就職して6年目 家族構成：一昨年、実家（父62歳 会社員、母58歳 パート社員）から独立。一人暮らし。独身
面談日時 2025年4月X日 h時00分～50分間 本人の希望で来談（初回）
相談の概要：（略①）
相談者の話した内容（カッコ内はキャリアコンサルタントの発言） 英語が得意で、英語力を活かした仕事がしたいと考えて、就職活動では総合商社を目指したが、内定がもらえず、グローバルに展開をしている大手素材メーカーに就職した。最初の配属は工場の経理部門で工場会計を2年間担当した。その後、本社の経理部税務チームへ異動して4年目になる。当初、本社に異動できたことは嬉しかったが、税務チームは全部で5名。同じ経理部の会計チーム、決算チームに比べて、非常に規模が小さい。仕事内容も専門性が高く仕事の幅が広がらないと思う。配属以来、自分が一番若手であり、後輩が入ってこないのが指導する経験も出来ず将来がとても不安である。 （仕事の幅が広がらないと思っているし、後輩もいないので指導経験も得られず、将来に不安を感じているのですね。） 税務チームの仕事は各事業所との接点もあるし、関連会社との調整業務もあるが、このままでは専門的な税務の知識は習得できるものの、指導力やマネジメント力は身に付かない。実は、財務部にいる同期が、会社の意向でMBA取得のためアメリカに留学する。非常に差が開いてしまったと思う。ショックであったし、悔しい…。 （悔しいと感じているのですね。） 本当は、英語力を活かして海外駐在を経験したい。グローバルなフィールドで新規事業の立ち上げ等に関わりたいと漠然と考えている。経理部の他のチームや財務部なら海外への異動の可能性は高いと思う。毎年、上司には異動申請を出しているが、なかなか実現しない。税務チームの上司や先輩は皆、税務の経験が長いので、自分もこのままずっとこの部署にいることになってしまうのではないかと。 <u>（将来的に必要な能力やスキルを身に付けるために、何か取り組んでいることはありますか？）【下線B】</u> 工場会計の時に必要に迫られて「日商簿記2級」は取得した。本社に来てからは、専門的な用語、知識を覚えるのが大変で、特に他は取り組んでいない。せっかくなら税理士の勉強をして資格を取るのも良いとは思いますが、そうするとますます海外で働く仕事から離れてしまうと思う。最近、人事制度が変わり副業が解禁になったので、このまましばらく異動ができないなら副業でもして経験を積もうかとも思ったが、ネットでざっと調べても、これといったものがないし、そもそも人事部の承認を取るのには難しいのではないかと。このままでは、どんどん同期と差がついてしまうと思うし、どうしたら良いのだろうか…。 <p style="text-align: center;">（以下略）</p>
所感（キャリアコンサルタントの見立てと今後の方針） ・【下線B】を質問した意図は、（以下略） <p style="text-align: center;">（以下略）</p>

# 解答用紙

氏名

(※無記名の場合0点となり修了不可となります。)

※注意：解答は全て行内に記入すること。それ以外に記入した部分は採点されません。

[問1] 面談記録の「相談者の主訴」【略①】に相当する、相談者がこの面談で相談したかったことはどんな内容か、記録に基づいて記述せよ。(10点)

[問2] 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかを記述せよ。(10点)

[問3] あなたの見立てた「相談者自身の問題(①)」と「その理由(②)」を、記録に基づいて、具体的に記述せよ。

① 相談者自身の問題 (10点)

② その理由 (10点)

[問4] 問3の解答内容を前提として、今後、あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でどのようにキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。(10点)

採点者①	／50	採点者②	／50	結果に○ (平均)	S:45 A:40 B:35 C:30 以上、D:30未満(不合格)
------	-----	------	-----	--------------	------------------------------------